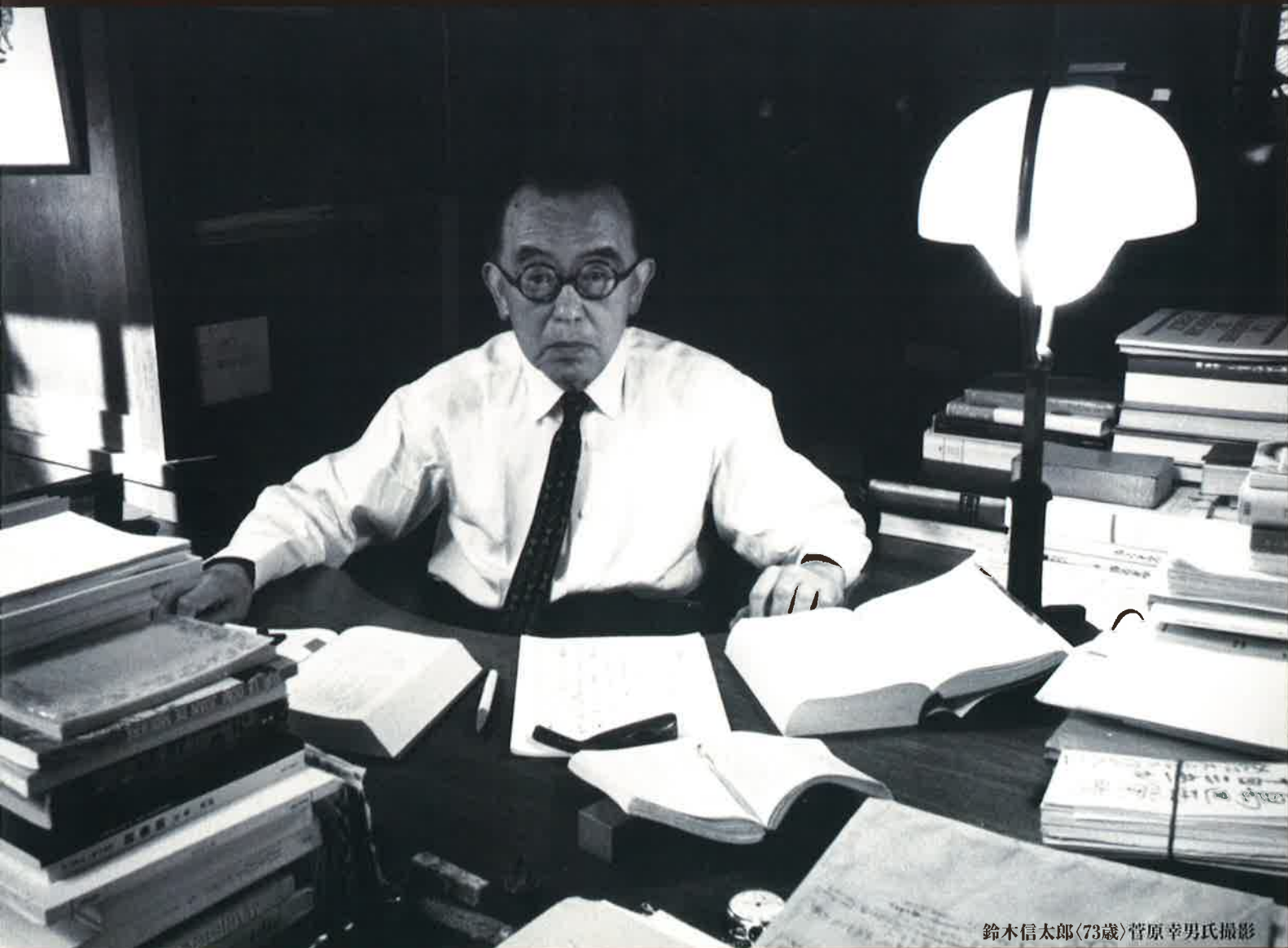


Musée Shintaro Suzuki

豊島区立
鈴木信太郎記念館



鈴木信太郎(73歳)菅原幸男氏撮影

2018年3月28日(水)開館

- 開館時間 午前9時～午後4時30分
 - 休館日 毎週月曜日(祝日と重なる場合はその翌日も)、第3日曜日、祝日、年末年始、
展示替えにともなう臨時休館
 - 入館料 無料
 - 交通案内 地下鉄丸ノ内線「新大塚駅」より徒歩約3分
JR山手線「大塚駅」南口より徒歩約8分
都電荒川線「大塚駅前」停留場より徒歩約8分
※駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。
 - 住所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-52-3 ■TEL (03)5950-1737
- <http://www.city.toshima.lg.jp/bunka/bunka/shiryokan/>

豊島区立鈴木信太郎記念館は、20世紀前半の日本のフランス文学研究黎明期に、フランス文学・語学の研究体制を確立し、研究者および教育者として活躍した鈴木信太郎(1895-1970)の旧宅(豊島区指定有形文化財「旧鈴木家住宅」)を改修整備したものです。

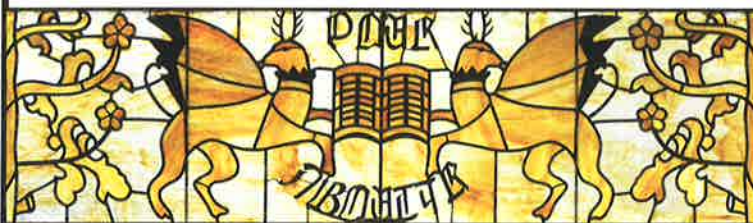
当館では、鈴木信太郎の研究業績と蒐集資料および旧宅を紹介し、その功績を顕彰します。そして当地が日本のフランス文学研究発祥の地であることを広く発信していきます。皆さまのご来館をお待ちしています!

フランス文学関連展示

信太郎の書斎では、主にフランス文学に関する信太郎の著作と蒐集資料を5つのコーナー(「フランス文学の受容と展開」、「象徴主義フランス詩の世界」、「信太郎の愛蔵書」、「信太郎の交友関係」、「信太郎の篆刻」)に分けて紹介します。また、書斎の窓の上部には、信太郎自身によってデザインされたステンドグラスが5枚はめこまれています。書斎の展示と合わせてご覧ください。

建築関連展示

「旧鈴木家住宅」は、1918年の当地居住以降、庭付き一戸建て住宅の利点である敷地南側の広い庭を利用しながら、家族構成、生活環境、時代の変化に併せた数度の増改築を経て維持されてきた住まいの姿を伝えています。記念館には、こうした増改築の変遷を物語る資料として、建築図面や書類が多く残されています。書斎棟北側廊下では、これらの図面資料を中心に展示します。



上: 書斎の窓の上部にあるステンドグラス
信太郎自らデザインした

左: 信太郎の代表的な研究作品
『ステファヌ・マラルメ詩集考』
(上巻/高桐書房、1948年;
下巻/三笠書房、1951年)



上: 鈴木信太郎記念館外観
手前より座敷棟、茶の間・ホール棟、書斎棟

左: 鈴木信太郎記念館書斎棟内観

開館記念事業

第1回〈講演会〉

鈴木信太郎先生とフランス文学

講師: 菅野昭正氏(東京大学名誉教授)

日時: 5月6日(日)14:00~15:30

会場: 南大塚地域文化創造館

定員: 60名

応募期間: 4月1日(日)~4月17日(火)必着

第2回〈見学会〉

旧鈴木家住宅建物解説・見学会

講師: 大平秀和氏(協同組合 伝統技法研究会)

日時: 5月19日(土)14:00~15:00

会場: 豊島区立鈴木信太郎記念館

定員: 15名

応募期間: 4月1日(日)~5月1日(火)必着

第3回〈講演会〉

マラルメの『大鴉』

講師: 柏倉康夫氏(放送大学名誉教授)

日時: 6月2日(土)14:00~15:30

会場: 南大塚地域文化創造館

定員: 60名

応募期間: 4月1日(日)~5月15日(火)必着

応募方法

往復はがきに「鈴木信太郎記念館開館記念事業参加申込」と明記のうえ①参加希望回②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号を記載し、下記の記念館所在地へ郵送して下さい。応募者多数の場合は抽選となります。

※応募締め切りが各回で異なります。お手数をおかけしますが、1枚の往復はがきにつき、1名1事業の申し込みを厳守して下さい。

利用案内

■開館時間 午前9時~午後4時30分

■休館日 毎週月曜日(祝日と重なる場合はその翌日も)、第3日曜日、祝日、年末年始、展示替えにともなう臨時休館

■入館料 無料

■交通案内 地下鉄丸ノ内線「新大塚駅」より徒歩約3分
JR山手線「大塚駅」南口より徒歩約8分
都電荒川線「大塚駅前」停留場より徒歩約8分
※駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。

■所在地 〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-52-3 ■TEL (03)5950-1737

<http://www.city.toshima.lg.jp/bunka/bunka/shiryokan/>

